

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び昭島市財政状況の公表に関する条例（昭和50年昭島市条例第3号）の規定に基づき、昭島市における令和2年度決算の状況及び令和3年度上半期の財政状況を公表する。

令和3年11月30日

昭島市長 臼井伸介

まえがき

市は、財政の状況について市民の皆さんにお知らせするため、そのあらましについて毎年定期的（5月及び11月の2回）に公表しています。

今回は、令和2年度の決算状況及び令和3年度上半期（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）における歳入・歳出予算の執行状況、市税負担と市民サービス支出の状況並びに市有財産、基金や市債の状況などについてお知らせします。

令和2年度決算の状況

1 一般会計決算の概要

一般会計は、市税のほか国庫支出金、都支出金や市債などの財源により、福祉、教育、環境や道路・公園等の公共施設の整備など、特別会計や水道事業会計を除き、市政全般の事業分野を経理する会計です。

一般会計決算の状況は、「表1」に示すとおりです。歳入総額は565億2,753万8千円で、歳出総額は547億66万5千円となりました。

決算収支は、形式収支で18億2,687万3千円の黒字となり、令和3年度に繰り越すべき財源2億4,757万6千円を差し引いた実質収支も15億7,929万7千円の黒字となりました。

2 一般会計決算の特徴

(1) 決算は前年度と比較して歳入が21.3%増、歳出が21.1%増

歳入では、地方交付税や分担金及び負担金が減少したものの、国庫支出金や地方消費税交付金などが増加したことにより全体では増となりました。歳出においては、特別定額給付金などの総務費が増加したことにより増となりました。

(2) 市税は前年度比0.3%増

市税収入は、個人市民税や固定資産税などの収入が増加したことにより、市税全体としては5,918万3千円の増となりました。

(3) 11年連続普通交付税の交付団体に

地方交付税のうち普通交付税は、平成22年度から11年連続して交付団体となり、2億7,321万5千円の交付を受けました。また、特別交付税は7,232万4千円の交付を受け、地方交付税全体としては前年度に比べ1億1,330万2千円の減となりました。

(4) 公債費は減税補填債の減などにより減少

公債費は、臨時財政対策債や拝島第一小校舎増築等事業債などの元利償還金の増があるものの、減税補填債などの元利償還金の減などにより、前年度に比べ5,009万4千円の減となりました。

3 令和2年度に行った主な事業

(1) 明るい地域社会の形成

○令和元年台風第19号の被害に伴う公共施設復旧	6,475万円
○防災行政無線デジタル化	6,183万2千円
○避難所空間確保のための備品購入	1,546万7千円
○ハザードマップ作成・配布	281万円

(2) 健康と福祉の充実

○保育園改築工事費補助	2億9,748万4千円
○子育て世帯・ひとり親世帯臨時特別給付金支給	2億9,553万9千円
○高齢者等インフルエンザ予防接種実費負担無償化	1億899万4千円
○高齢者見守り支援配食サービス	2,040万円
○PCR検査センター開設	1,976万2千円

(3) 教育・文化・スポーツの充実

○アキシマエンシス管理・運営	2億3,087万7千円
----------------	-------------

○小・中学校体育館空調機器設置	2億2,051万9千円
○小・中学校コンピュータ教育(GIGAスクール)	1億2,023万8千円
○やまのかみ会館空調整備改修	4,462万7千円
(4) 循環型社会の形成	
○清掃センター焼却施設補修	2億6,621万2千円
○崖線緑地・公共施設樹木保全	3,640万9千円
○給水スポット設置	2,989万1千円
○「あきしまの水」マイボトル缶作成	200万円
(5) 快適な都市空間の整備	
○都市計画道路3・4・1号整備	4,257万6千円
○昭島駅南口立体自転車等駐輪場塗装等工事	3,190万円
○昭和公園蒸気機関車改修	1,932万1千円
(6) 産業の活性化	
○新型コロナウイルス感染症対策応援金	2億9,005万円
○新型コロナウイルス感染拡大防止補助	1億535万円
○さきめし応援事業補助	6,292万1千円
(7) その他	
○特別定額給付金支給	114億2,891万3千円
○閲覧台帳電子化	390万9千円
○公式キャラクターグッズ作成	145万1千円

4 財政指標

財政状況を示す財政指標は、「表2」のとおりです。

令和2年度の経常収支比率は、都内26市の平均を1.8ポイント上回り、92.4%となりました。前年度の93.9%と比較すると1.5ポイント下回りでしたが、依然として高い水準であり、新たな行政需要に対応しにくい状況にあります。

5 特別会計決算の状況

特別会計については、「表3・4・5・6」に示すとおりです。

令和3年度上半期の財政状況

1 一般会計

令和3年度の上半期における一般会計の歳入・歳出予算執行状況は、「表7」のとおりです。また、5回の補正予算（補正合計額44億5,870万円の増額）の編成を行い、前年度からの繰越額6億3,813万1千円を含めた予算現額は、482億4,183万1千円となっています。上半期の補正予算の主な内容は、「表8」のとおりです。

(1) 歳入

歳入の状況は、「表7」に示すとおりです。歳入の収入済額は224億6,911万1千円で、予算現額に対する収入率は46.6%となっています。前年同期と比較すると101億4,406万3千円（31.1%）の減となっています。これは、特別定額給付金給付事業費補助金113億8,000万円の収入がなかったことなどによります。

市税の収入済額は119億4,363万1千円で、収入率は64.4%となっています。この市税は、固定資産税の減はあるものの、法人税、市たばこ税の増などにより、前年同期と比較して7億1,933万4千円の増となっています。このほか、地方消費税交付金14億1,089万8千円、国庫支出金40億974万7千円、都支出金19億956万2千円などが収入済となっています。また、市は、平成22年度から12年連続で国から普通交付税が交付される交付団体となりました。令和3年度においては、4億9,830万7千円が交付されることとなっており、このうち3億2,095万9千円が収入済となっています。

(2) 歳出

歳出の状況は、同じく「表7」に示すとおりです。歳出の支出済額は169億9,903万2千円で、予算現額に対する執行率は35.2%となっています。前年同期と比較すると106億6,962万4千円（38.6%）の減となっています。これは、特別定額給付金給付事業の執行などがなかったことによるものです。歳出予算額の49.1%を占める民生費の支出済額は88億8,188万9千円で、執行率は37.5%となっています。このほか、総務費14億9,164万円、衛生費17億402万4千円、土木費8億1,420万1千円、教育費22億7,553万3千円などが支出済となっています。

この上半期に支出される経費は、法令の規定等により支出が義務づ

けられている経常経費が多く、道路整備や学校施設整備などの建設事業費の支出については、工期が長期間に及ぶものが多いため、下半期に集中します。

2 市民の市税負担と市民サービス支出の状況

この状況は、「表9」のとおりです。市税は当初予算額において歳入総額の約4割を占める基幹的収入となっていますが、市民一人当たりの負担額に換算すると、10万4,916円になります。

一方、市民サービスの維持向上のために支出された費用は、市民一人当りに換算すると14万9,324円になっています。このうち福祉関係費は7万8,021円、教育関係費は1万9,989円などとなっています。これらの費用は、市税のほか国庫支出金、都支出金などで賄われています。

3 市有財産の状況

市では、市庁舎、道路、公園、学校などの土地や建物を所有しています。また、昭島市育英会や社会福祉法人昭島市社会福祉事業団への出資金などがあります。その状況は、「表10」のとおりです。

4 基金の状況

市には、年度間の財源調整を図るための財政調整基金のほか、公共施設の整備や職員退職手当などの特定の目的のため積み立てている特定目的基金があります。

「表11」に示すとおり、財政調整基金は58億3,830万8千円、特定目的基金は72億3,432万5千円、特別会計運営基金は14億4,946万2千円となっており、基金総額では145億2,209万5千円の残高となっています。これを市民一人当たりに換算すると、12万7,566円の貯金があることとなります。

5 市債の状況

学校、道路、公園、市立会館などの公共施設の整備には、一時的に多額の費用が必要となります。その費用の全額を単年度の市税や国庫支出金、都支出金などで賄うと、現在の市民の皆さんが多大な負担をすることになります。これらの公共施設は将来にわたり長期的に利用するものですから、その費用を公平に将来の市民の皆さんにも負担していただく

という考えで、建設事業債として国、都及び金融機関などから借入れを行っています。このほかに、臨時財政対策債など財源不足を補うために特例で認められる赤字地方債の借入れを行うこともあります。

「表12」に示すとおり、178億6,235万6千円の市債残高があります。市民一人当たり換算すると、15万6,908円の借金があることとなります。

6 一時借入金の状況

年度途中において、歳入と歳出の時期的な収支のズレなどから生じる一時的な現金の不足を補うために借り入れる資金のことで、年度内に償還をしなければならず、複数年にわたって借り入れることができる市債とは区別されます。その状況は「表13」のとおりです。

7 特別会計

市は、地方自治法第209条第2項の規定等により、特定の事業を行うため、又は特定の歳入をもって特定の歳出に充当するため、一般会計とは別に4つの特別会計を設置し、その経理を明確にしています。

令和3年9月末日現在における各特別会計の執行状況は次のとおりです。

(1) 国民健康保険特別会計

国民健康保険に加入している市民（被保険者）の保険を経理する会計で、歳入歳出の状況は、「表14」に示すとおりです。

収入済額は43億3,108万2千円で、予算現額に対する収入率は35.3%となっています。このうち、被保険者からの保険税は7億7,855万1千円で、収入率は38.5%となっています。

一方、支出済額は41億2,676万5千円で、予算現額に対する執行率は33.7%となっています。この支出の大部分が保険給付費及び国民健康保険事業費納付金で40億3,411万9千円となっており、支出済額の97.8%を占めています。

(2) 介護保険特別会計

主に高齢者の介護を必要とする市民のための介護保険を経理する会計で、歳入歳出の状況は、「表15」に示すとおりです。収入済額は40

億4,736万7千円で、予算現額に対する収入率は39.0%となっています。このうち、保険料は10億3,872万1千円で、収入率は47.9%となっています。

一方、支出済額は39億5,536万9千円で、予算現額に対する執行率は38.2%となっています。この支出の大部分が保険給付費で36億7,878万3千円となっており、支出済額の93.0%を占めています。

(3) 後期高齢者医療特別会計

老人保健医療制度に代わり、高齢者世代と現役世代の負担を明確にし、公平で分かり易い独立した医療制度として平成20年度より創設された会計で、歳入歳出の状況は、「表16」に示すとおりです。収入済額は10億4,904万1千円で、予算現額に対する収入率は39.7%となっています。主な収入は、後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金となっています。

一方、支出済額は8億7,037万6千円で、予算現額に対する執行率は32.9%となっています。この支出の大部分が広域連合納付金で8億1,857万2千円となっており、支出済額の94.0%を占めています。

(4) 中神土地区画整理事業特別会計

中神駅北側区域の区画整理事業を実施するために設けられた会計で、歳入歳出の状況は、「表17」に示すとおりです。収入済額は1億2,730万1千円で、予算現額に対する収入率は27.8%となっています。主な収入は、一般会計からの繰入金及び繰越金となっています。

一方、支出済額は6,474万円で、予算現額に対する執行率は14.1%となっています。

むすび

以上が、令和2年度決算及び令和3年度上半期の財政状況のあらましです。

歳入では市税収入などの動向は不透明であり、経常一般財源額の大幅な回復が見込めない一方、歳出では社会福祉費や児童福祉費などの扶助費、行政のデジタル化の推進への対応などによる物件費の増など、引き続き多額の財源不足が見込まれており、補填のために臨時財政対策債の借入れや基金の取崩しなどを行うことを余儀なくされています。さらに、平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画を受けて、公共施設の

更新や統廃合に係る経費が今後見込まれる状況にあり、引き続き大きな財政需要を抱えています。また、新型コロナウイルス感染症や多発する自然災害などに対応するとともに、質の高い魅力にあふれた「新しい昭島」のまちづくりを進めることも重要な課題となっています。

こうした厳しい財政状況の中で、今後もより一層効率的・効果的な予算配分・予算執行を行い、自主・自立した行財政の運営を目指すとともに、更なる市民サービスの維持・向上に努めてまいります。

令和2年度 決算状況

表1 一般会計歳入・歳出決算総括表

【歳入】

(単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 市 税	19,472,000	19,898,768	35.2%	102.2%	426,768
2 地 方 譲 与 税	185,101	173,461	0.3%	93.7%	△ 11,640
3 利 子 割 交 付 金	23,000	22,023	0.0%	95.8%	△ 977
4 配 当 割 交 付 金	118,000	106,365	0.2%	90.1%	△ 11,635
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	65,000	123,551	0.2%	190.1%	58,551
6 法 人 事 業 税 交 付 金	88,000	91,076	0.2%	103.5%	3,076
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,416,000	2,432,609	4.3%	100.7%	16,609
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	26,000	25,811	0.0%	99.3%	△ 189
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金	1	15	0.0%	1463.0%	14
10 環 境 性 能 割 交 付 金	44,000	30,387	0.0%	69.1%	△ 13,613
11 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 金	14,139	14,211	0.0%	100.5%	72
12 地 方 特 例 交 付 金	144,752	144,752	0.3%	100.0%	0
13 地 方 交 付 税	323,215	345,600	0.6%	106.9%	22,385
14 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	12,000	16,828	0.0%	140.2%	4,828
15 分 担 金 及 び 負 担 金	339,617	233,974	0.4%	68.9%	△ 105,643
16 使 用 料 及 び 手 数 料	887,352	774,660	1.4%	87.3%	△ 112,692
17 国 庫 支 出 金	22,248,898	21,913,546	38.8%	98.5%	△ 335,352
18 都 支 出 金	6,941,082	6,931,625	12.3%	99.9%	△ 9,457
19 財 産 収 入	28,889	31,917	0.1%	110.5%	3,028
20 寄 附 金	45,821	58,314	0.1%	127.3%	12,493
21 繰 入 金	1,517,461	489,117	0.9%	32.2%	△ 1,028,344
22 繰 越 金	1,406,363	1,406,363	2.5%	100.0%	0
23 諸 収 入	320,867	336,765	0.6%	105.0%	15,898
24 市 債	1,275,700	925,800	1.6%	72.6%	△ 349,900
歳入合計	57,943,258	56,527,538	100.0%	97.6%	△ 1,415,720

【歳出】

(単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 議 会 費	348,360	336,376	0.6%	96.6%	0	11,984
2 総 務 費	17,031,268	16,705,021	30.5%	98.1%	2,442	323,805
3 民 生 費	23,289,149	22,137,418	40.5%	95.1%	0	1,151,731
4 衛 生 費	4,262,607	3,851,044	7.1%	90.3%	110,389	301,174
5 労 働 費	75,975	70,919	0.1%	93.3%	0	5,056
6 農 林 費	55,307	45,836	0.1%	82.9%	0	9,471
7 商 工 費	681,719	664,363	1.2%	97.5%	0	17,356
8 土 木 費	2,428,627	2,095,230	3.8%	86.3%	112,000	221,397
9 消 防 費	1,463,968	1,432,636	2.6%	97.9%	0	31,332
10 教 育 費	6,156,036	5,221,748	9.6%	84.8%	413,300	520,988
11 災 害 復 旧 費	72,801	64,750	0.1%	88.9%	0	8,051
12 公 債 費	2,077,322	2,075,324	3.8%	99.9%	0	1,998
13 予 備 費	119	0	0.0%	0.0%	0	119
歳出合計	57,943,258	54,700,665	100.0%	94.4%	638,131	2,604,462

市民の市税負担と市民サービス支出の状況

(一般会計 収入・支出済額より)

区 分	1人当たり	1世帯当たり
市 税 負 担 額	175,239円	361,730円
市民サービス支出額	481,723円	994,377円

※令和3年1月1日現在の人口と世帯数を用いて求めています。(113,552人・55,010世帯)

(1)市民の税負担額の状況

市 税 の 科 目	収 入 済 額 (千円)	構 成 比	1人当たり の負担額 (円)	1世帯当たり の負担額 (円)
市 民 税	8,672,397	43.5%	76,374	157,652
固 定 資 産 税	8,789,177	44.2%	77,402	159,774
軽 自 動 車 税	139,897	0.7%	1,232	2,543
市 た ば こ 税	729,213	3.7%	6,422	13,256
都 市 計 画 税	1,568,084	7.9%	13,809	28,505
合 計	19,898,768	100.0%	175,239	361,730

(2)市民への行政サービス支出額の状況

予 算 科 目	支 出 済 額 (千円)	構 成 比	1人当たり のサービス支出額 (円)	1世帯当たり のサービス支出額 (円)
総 務 費	16,705,021	30.5%	147,113	303,673
民 生 費	22,137,418	40.5%	194,954	402,425
衛 生 費	3,851,044	7.1%	33,914	70,006
土 木 費	2,095,230	3.8%	18,452	38,088
消 防 費	1,432,636	2.6%	12,617	26,043
教 育 費	5,221,748	9.6%	45,986	94,924
公 債 費	2,075,324	3.8%	18,276	37,726
そ の 他	1,182,244	2.1%	10,411	21,492
合 計	54,700,665	100.0%	481,723	994,377

表2 財政指標

財政指標	昭島市	26市平均	備 考
経常収支比率	92.4%	90.6%	経常的な一般財源を経常的経費に充てた割合。 (一般的に70%~80%が適正水準といわれています。)
財政力指数 (単年度)	0.979 (0.985)	1.000 (1.003)	普通交付税算定上の基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合の過去3年間の平均値です。この指数が単年度で1を下回ると普通交付税が交付されます。昭島市においては、平成22年度から11年連続で交付されています。

財政力指数（過去3年間の平均値）・経常収支比率の過去5年間の推移

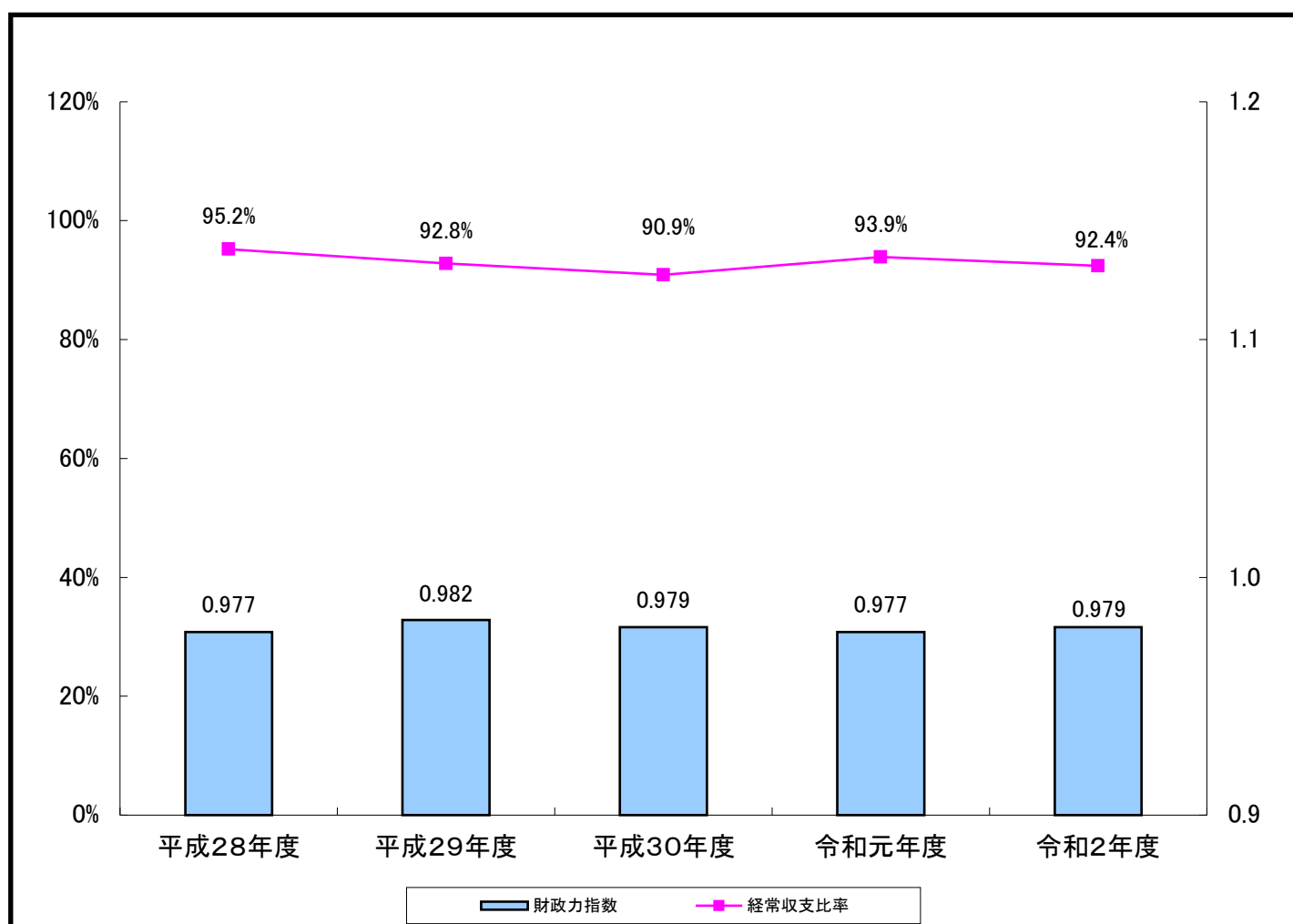


表3 国民健康保険特別会計歳入・歳出決算総括表

【歳入】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 国民健康保険税	2,082,237	2,133,190	18.3%	102.4%	50,953
2 一部負担金	1	0	0.0%	0.0%	△ 1
3 国庫支出金	1	20,231	0.2%	2023100.0%	20,230
4 都支出金	8,342,368	7,657,108	65.8%	91.8%	△ 685,260
5 財産収入	343	70	0.0%	20.4%	△ 273
6 繰入金	1,535,956	1,535,956	13.2%	99.9%	0
7 繰越金	225,869	225,869	2.0%	99.9%	0
8 諸収入	47,346	58,280	0.5%	123.1%	10,934
歳入合計	12,234,121	11,630,704	100.0%	95.1%	△ 603,417

【歳出】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	178,089	159,322	1.4%	89.5%		18,767
2 保険給付費	8,261,884	7,401,805	65.4%	89.6%		860,079
3 国民健康保険事業費 納付金	3,271,663	3,271,662	28.9%	99.9%		1
4 共同事業拠出金	2	1	0.0%	63.0%		1
5 保健事業費	129,005	103,338	0.9%	80.1%		25,667
6 基金積立金	259,508	259,236	2.3%	99.9%		272
7 公債費	13	0	0.0%	0.0%		13
8 諸支出金	130,957	128,008	1.1%	97.7%		2,949
9 予備費	3,000	0	0.0%	0.0%		3,000
歳出合計	12,234,121	11,323,372	100.0%	92.6%	0	910,749

表4 介護保険特別会計歳入・歳出決算総括表

【歳入】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 保険料	1,999,363	2,024,071	21.1%	101.2%	24,708
2 国庫支出金	1,994,984	1,994,535	20.7%	99.9%	△ 449
3 支払基金交付金	2,430,020	2,356,456	24.5%	97.0%	△ 73,564
4 都支出金	1,380,340	1,382,562	14.4%	100.2%	2,222
5 財産収入	462	56	0.0%	12.1%	△ 406
6 繰入金	1,683,040	1,684,019	17.5%	100.1%	979
7 繰越金	175,904	175,904	1.8%	99.9%	0
8 諸収入	2,144	1,360	0.0%	63.4%	△ 784
歳入合計	9,666,257	9,618,963	100.0%	99.5%	△ 47,294

【歳出】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	238,568	219,342	2.4%	91.9%		19,226
2 保険給付費	8,750,004	8,459,347	91.0%	96.7%		290,657
3 財政安定化基金拠出金	1	0	0.0%	0.0%		1
4 地域支援事業費	430,271	375,162	4.0%	87.2%		55,109
5 基金積立金	98,401	97,968	1.0%	99.6%		433
6 公債費	20	0	0.0%	0.0%		20
7 諸支出金	148,492	146,200	1.6%	98.5%		2,292
8 予備費	500	0	0.0%	0.0%		500
歳出合計	9,666,257	9,298,019	100.0%	96.2%	0	368,238

表5 後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算総括表

【歳入】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 後期高齢者医療保険料	1,141,665	1,153,382	43.8%	101.0%	11,717
2 広域連合支出金	93,557	84,071	3.2%	89.9%	△ 9,486
3 繰入金	1,353,330	1,353,321	51.3%	99.9%	△ 9
4 繰越金	27,909	27,909	1.1%	99.9%	0
5 諸収入	15,655	15,920	0.6%	101.7%	265
6 国庫支出金	700	704	0.0%	100.6%	4
歳入合計	2,632,816	2,635,307	100.0%	100.1%	2,491

【歳出】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	56,741	52,915	2.0%	93.3%		3,826
2 広域連合納付金	2,424,884	2,416,769	92.7%	99.7%		8,115
3 保健等事業費	114,132	103,032	4.0%	90.3%		11,100
4 諸支出金	34,059	33,376	1.3%	98.0%		683
5 予備費	3,000	0	0.0%	0.0%		3,000
歳出合計	2,632,816	2,606,092	100.0%	99.0%	0	26,724

表6 中神土地区画整理事業特別会計歳入・歳出決算総括表

【歳入】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 使用料及び手数料	2,500	3,776	2.1%	151.0%	1,276
2 国庫支出金	4,000	0	0.0%	0.0%	△ 4,000
3 都支出金	2,000	0	0.0%	0.0%	△ 2,000
4 繰入金	188,500	152,000	87.0%	80.6%	△ 36,500
5 保留地処分金	17,500	17,584	10.1%	100.5%	84
6 繰越金	1,383	1,382	0.8%	99.9%	△ 1
7 諸収入	2	5	0.0%	233.8%	3
歳入合計	215,885	174,747	100.0%	80.9%	△ 41,138

【歳出】 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	119,010	109,107	64.3%	91.7%		9,903
2 事業費	93,457	59,252	34.9%	63.4%	8,000	26,205
3 公債費	35	0	0.0%	0.0%		35
4 諸支出金	1,383	1,382	0.8%	99.9%		1
5 予備費	2,000	0	0.0%	0.0%		2,000
歳出合計	215,885	169,741	100.0%	78.6%	8,000	38,144